

2026 年度本部委員会功労賞候補者推薦について

日本分析化学会は、多年にわたって本会本部委員会及び小委員会で活動し、本学会を通じて分析技術の発展に貢献された方を表彰して「本部委員会功労賞」を贈呈します。

下記の本部委員会功労賞規程により 2026 年度本部委員会功労賞候補者を募集します。関係各位におかれましては、適任者がおられましたらご推薦くださいますようお願い申し上げます。

『本部委員会功労賞規程』

第 1 条 本会に本部委員会功労賞を設け、多年にわたり公益社団法人日本分析化学会本部委員会および小委員会で活動し、本学会を通じて分析技術の発展に貢献した者に、これを贈呈する。対象となる委員会は別紙に定める。

第 2 条 本部委員会功労賞は、賞状を年会または討論会において贈呈する。

第 3 条 本部委員会功労賞候補者の推薦者は、本部委員会委員長及び現在休止・廃止している委員会については元委員長とし、その委員会に所属する者または過去に所属した者を推薦することができる。複数の委員会の活動を合わせて申請することができる。

第 4 条 前条によって推薦される者は、本会正会員にして、申請する年の 2 月末日をもって、合計 10 年以上第 1 条の活動に従事した者とする

第 5 条 候補者の推薦に際しては、次の (1)～(2) に規定する書類を電子媒体にて、指定された日までに本会に提出するものとする。

(1) 推薦書 (2) 被推薦者理由書 (いずれも本会所定の用紙)

第 6 条 各委員会からの申請は各年で 3 件以下とする。授賞数は 10 件以下とする。

第 7 条 本部委員会功労賞候補者の選考は、本部委員会功労賞審査委員会において行う。審査委員は、理事会が本会副会長及び庶務担当理事より 5 名を選考し、会長がこれを委嘱する。委員長は、筆頭副会長又は表彰業務担当副会長とする。

(別紙) 本部委員会功労賞の対象となる委員会

標準物質委員会、技能試験委員会、分析化学技術者教育企画委員会、分析士認証委員会、ぶんせき編集委員会、分析化学編集委員会、Analytical Sciences 編集委員会、X-ray Structure Analysis Online 編集委員会、広報委員会、会員・広報協議会、学術振興協議会、学術会合協議会及びそれらに属する小委員会

(以下省略)

☆

☆

1) 2026 年度本部委員会功労賞授賞式は、2026 年 9 月 17 日 (木) 第 75 年会 (東北大学) において行う予定です。

2) 推薦書類 (推薦書、被推薦者理由書：本会所定の用紙) は、下記期限までに提出してください。

3) 推薦期限：2025 年 12 月 31 日

4) 推薦書類提出先：日本分析化学会本部委員会功労賞係 (E-mail：shomu@jsac.or.jp)

5) 所定の書類は、<https://www.jsac.jp/applications/> からダウンロードしてください。

2025年度啓育指導賞受賞者募集

このたび、液体クロマトグラフィー (LC) 研究懇談会では啓育指導賞を創設し、2025年度の受賞者を募集することとなりました。本賞の性格、受賞者の資格、推薦などは「啓育指導賞授賞規定」(抜粋)により、以下のように定められております。

第2条(本賞の性格) LC研究者の啓育指導とLC研究懇談会の発展に、大きく貢献した者に授与する。

第3条(受賞者の資格) 年齢は問わないが、LC研究懇談会の個人会員であることを要する。

第5条(受賞候補者の推薦) 推薦者は、LC研究懇談会の個人会員とする。

第7条(賞の授与) LC & LC/MS テクノプラザにおいて行い、授賞者には賞牌および副賞1万円を授与する。

つきましては、受賞候補者の推薦(自薦を含む)を希望される方は、推薦理由および候補者の略歴を含む推薦書(1ファイル)を下記送付先宛てに電子メールでお送りください。なお、受賞者には電子ジャーナル「LCとLC/MSの知恵」通巻第11号(12月15日発行予定)に業績の紹介をお願いいたします。

送付先 LC研究懇談会 [E-mail: nakamura@jsac.or.jp]

応募締切 10月15日(水)17時

- 食物アレルギー分析における試薬選択と前処理・測定の最適化 (15.20~15.55)

((一財)日本食品検査) 橘田 規
(LC分析士三段, LC/MS分析士四段)

- プロテオミクスによるヌクレオソーム構造解析へのアプローチ

(東京大学定量生命科学研究所) 根岸瑠美
(LC/MS分析士二段)

- 総括「プロテオミクスを達成する選択肢」

(16.30~17.05)

(東京理科大学) 中村 洋

(LCマイスター, LC/MSマイスター)

参加費 ①学生:1,000円, ②LC懇・個人会員:2,000円, ③LC懇・団体会員:3,000円, ④後援学会・個人会員:4,000円, ⑤後援学会・団体会員:4,500円, ⑥その他:5,000円。

参加申込締切後の受付はできませんので、ご了承ください。

情報交換会 終了後、講師を囲んで情報交換会を開催します(会費5,000円)。参加申込締切後のご参加はできませんので、参加希望者は必ず事前にお申し込みください。

参加申込および参加費等納入締切日 2025年10月16日(木)
(入金締切時刻:15時まで)

申込方法

- 参加希望者は、下記申込先にアクセスし、氏名、勤務先(電話番号)、LC研究懇談会・個人会員、協賛学会・個人会員、その他の別および情報交換会参加の有無を明記のうえ、お申し込みください。なお、参加者名と振込者名が違う場合は、参加申込書の連絡事項欄に振込者名を明記してください。
- お申込みが完了した場合には、登録されたアドレス欄に「第412回液体クロマトグラフィー研究懇談会申込み受付(自動返信)」のメールが届きます。メールが届かない場合は、①入力したご自分のアドレスに間違いがないか、②迷惑メールフォルダーをご確認のうえ、世話人までお問い合わせください。
- 申込み受付のメールを受領後、必ず期限内に研究懇談会参加費、情報交換会費の納入を行ってください。期限内に納入が確認できない場合、お申込みを無効とし参加URLを発行しませんので、十分ご注意ください。当日払いは受け付けません。なお、いったん納入された参加費は、返金いたしません。
- 参加費の納入が確認できた方には、2025年10月17日以降に要旨集をメールにてお送りいたします。必要に応じてプリントアウトしてご参加ください。また、請求書の発行はいたしておりません。

液体クロマトグラフィー研究懇談会(例会)参加費送金時のご注意

例会参加費、情報交換会費を送金される場合、下記を禁止しておりますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

- 複数例会の参加費の同時振込
(→例会ごとに振り込んでください)
- 複数参加者の参加費の同時振込
(→参加者ごとに振り込んでください)
- 年会費や他の費用との合算振込
(→費目ごとに振り込んでください)

申込先 <https://forms.gle/5KhgN2f4YhckDRta7>

(学生申込者は、所属欄に大学名、学部、学年を記載)

銀行送金先 りそな銀行五反田支店(普通)1754341、口座名義:シヤ)ニホンブンセキカガクカイ〔公益社団法人日本分析化学会・液体クロマトグラフィー研究懇談会〕

問合先 (公社)日本分析化学会・液体クロマトグラフィー研究懇談会 世話人(国研)農業・食品産業技術総合研究機構 高橋亜希子 [E-mail: takahashi.akiko073@naro.go.jp]

第412回液体クロマトグラフィー研究懇談会

主催 (公社)日本分析化学会・液体クロマトグラフィー研究懇談会

後援 (公社)日本化学会、(公社)日本農芸化学会、(公社)日本分析化学会(薬学会は許諾後)

プロテオミクス研究技術はトップスピードで進化しています。極微量タンパク質研究を加速させるため、多くの実験選択肢を持つことは非常に重要です。本例会では「選択肢」にフォーカスし、現場で活用・応用できる最新のプロテオミクス技術情報・研究成果をご講演いただきます。

期日 2025年10月24日(金)13.00~17.05

会場 (株)島津製作所東京支社イベントホール〔東京都千代田区神田錦町1-3、交通:①地下鉄:都営新宿線「小川町」駅、東京メトロ千代田線「新御茶ノ水」駅、東京メトロ丸の内線「淡路町」駅のB7出口より徒歩6分、東京メトロ銀座線「神田駅」より徒歩10分、②JR「神田」駅西口より徒歩10分〕
<https://www.shimadzu.co.jp/aboutus/company/access/tokyo.html>

講演主題 プロテオミクスを達成する選択肢

講演

講演主題概説(オーガナイザー)(13.00~13.05)

(農研機構) 高橋亜紀子

(LC分析士初段, LC/MS分析士二段)

1. プロテオーム解析用サンプル調製の方法とポイント (13.05~13.40)

(サーモフィッシュャーサイエンティフィック(株)) 牛山正人
(2025年度LC/MS分析士受験申込済)

2. プロテオミクスにおける前処理の選択肢 (13.40~14.15)

(ジールサイエンス(株)) 太田茂徳

(LC分析士二段)

3. タンパク質消化酵素・移動相・カラムの選択肢と組み合わせ (14.15~14.50)

(日本ウォーターズ) 寺崎真樹

(LC/MS分析士初段)

休憩 (14.50~15.20)

第 61 回 X 線分析討論会

主催 (公社)日本分析化学会 X 線分析研究懇談会
第 61 回 X 線分析討論会を以下のとおり実施いたします。多くの方の参加をお待ちしておりますので、どうぞよろしくお願いたします。

期日 2025 年 10 月 30 日 (木)・31 日 (金)

会場 水戸市民会館〔茨城県水戸市泉町 1-7-1〕

事前参加申込開始 2025 年 9 月 1 日

事前参加申込締切 2025 年 10 月 3 日

詳細については、討論会 Web サイト

<https://xbun.jsac.jp/conference/no61.html> をご覧ください。

連絡先 茨城大学大学院理工学研究科 佐藤成男

[E-mail: xbun61@gmail.com]

第 19 回茨城地区分析技術交流会

主催 (公社)日本分析化学会関東支部・同茨城地区分析技術交流会

期日 2025 年 12 月 5 日 (金)

会場 水戸市民会館 南側 3 階大会議室および 2 階展示室〔茨城県水戸市泉町 1-7-1, 交通: JR 常磐線水戸駅北口からバス・タクシーで 5 分あるいは徒歩 20 分〕

<https://www.mito-hall.jp/>

プログラム

12.00~ 受付

13.00~13.05 開会挨拶

(日本原子力研究開発機構) 江坂文孝

13.05~13.45 ペプチドや DNA を用いたタンパク質と細胞のセンシング

(前橋工科大学工学部) 菅原一晴

13.50~15.30 ポスター発表 (分析研究, 技術開発の紹介など)

15.50~16.30 産学連携で切り拓く分子構造解析の新学術と社会実装

(東京大学大学院工学系研究科) 佐藤宗太

16.30~17.10 分析の信頼性確保

(産業技術総合研究所) 津越敬寿

17.10~17.15 閉会挨拶 (茨城大学農学部) 鎗田 孝

17.30~19.30 情報交換会

参加申込・ポスター発表申込 10 月 24 日 (金) までに、日本分析化学会関東支部の茨城地区のホームページ (<https://kanto.jsac.jp/ibaraki/>) に掲載の【Google フォーム①】に必要な事項をご記入のうえ、送信してください。参加費は無料です。なお、ポスター発表では、ポスター賞 (学生および一般) を設けています。奮ってご応募ください。講演およびポスター発表終了後には情報交換会を予定していますので、参加の有無についてのご記入もお願いいたします。情報交換会に参加される方は、交流会当日に会費 3,000 円 (一般)、1,000 円 (学生) を受付にてお支払いください。

ポスター発表要旨 A4 用紙 1 枚 (上下左右マージン 2.5 cm) に、①発表題目、②所属、③発表者氏名 (発表者に○)、④発表要旨 (形式自由) を記入し、PDF ファイルを同ホームページ掲載の【Google フォーム②】にアップロードしていただくか、下記連絡先まで電子メールでお送りください。提出締切は 11 月 7 日 (金) です。なお、ポスターサイズは A0 (縦) に収まるサイズで作成してください。

連絡先 〒319-1195 茨城県那珂郡東海村白方 2-4 (国研)

日本原子力研究開発機構 江坂文孝

[E-mail: esaka.fumitaka@jaea.go.jp]

第 414 回液体クロマトグラフィー研究懇談会

主催 (公社)日本分析化学会・液体クロマトグラフィー (LC) 研究懇談会

後援 (公社)日本化学会、(公社)日本農芸化学会、(公社)日本分析化学会 (薬学会は許諾後)

ソリューションサービスとは、顧客の抱える問題を解決するための提案やサービスを提供する業務のことです。LC および LC/MS 分野でもさまざまな組織がソリューションサービスを提供しています。受託分析や技術コンサルティングが代表的なものです。ほかにも、メーカーがユーザーを支援するためのサービスや公的機関が提供する研究支援なども含まれます。本例会では、そのようなソリューションサービスを提供している組織から、保有技術や事例を紹介していただきます。

期日 2025 年 12 月 17 日 (水) 13.00~17.00

会場 (株)島津製作所東京支社イベントホール〔東京都千代田区神田錦町 1-3, 交通: ①地下鉄: 都営新宿線「小川町」駅、東京メトロ千代田線「新御茶ノ水」駅、東京メトロ丸の内線「淡路町」駅の B7 出口より徒歩 6 分、東京メトロ銀座線「神田駅」より徒歩 10 分、②JR「神田」駅西口より徒歩 10 分〕
<https://www.shimadzu.co.jp/aboutus/company/access/tokyo.html>

講演主題 LC 及び LC/MS 分野におけるソリューションサービス

講演

講演主題概説 (オーガナイザー) (13.00~13.10)

(西岡技術士事務所) 西岡亮太

(LC 分析士五段)

1. LC/MS で切り拓く創薬・医療のソリューションサービス (13.10~13.35)

(株)東レリサーチセンター) 櫻井 周

(LC 分析士初段, LC/MS 分析士二段)

2. LC/MS を用いた生体試料中濃度分析におけるトラブルシューティング (13.35~14.00)

(株)住化分析センター) 松井誠一

(LC 分析士初段, LC/MS 分析士二段)

3. 自動分析ソフトウェアを活用した HPLC の分析メソッド開発支援 (14.00~14.30)

((一財)化学物質評価研究機構) 坂牧 寛

(LC 分析士三段, LCMS 分析士二段)

4. 食品分析機関における糖類の分析 (14.30~14.55)

((一財)日本食品分析センター) 横関俊昭

(LC 分析士初段)

休憩 (14.55~15.10)

5. 高分解能キャピラリーカラムを用いる植物由来成分の分離分析 (15.10~15.35)

(アクアス(株)) 小林宏資

(LC 分析士三段, LC/MS 分析士初段)

6. 質量分析に関する様々なソリューションサービス~LC/MS, イメージング, マススペクトル解析など~ (15.35~16.05)

(浜松医科大学/エムエス・

ソリューションズ(株)/プレッパーズ) 高橋 豊

(LC 分析士二段, LC/MS 分析士五段)

7. 島津製作所の分析ソリューションに関する取り組み (16.05~16.30)

(株)島津製作所) 寺田英敏

(LC 分析士三段, LC/MS 分析士初段)

8. 総括「LC 及び LC/MS 分野におけるソリューションサービス」(16.30~17.00)

(東京理科大学) 中村 洋

(LC マイスター, LC/MS マイスター)

参加費 ①学生：1,000円、②LC懇・個人会員：2,000円、③LC懇・団体会員：3,000円、④後援学会・個人会員：4,000円、⑤後援学会・団体会員：4,500円、⑥その他：5,000円。
参加申込締切後の受付はできませんので、ご了承ください。

情報交換会 終了後、講師を囲んで情報交換会を開催します（会費5,000円）。参加申込締切後のご参加はできませんので、参加希望者は必ず事前にお申し込みください。

参加申込および参加費等納入締切日 2025年12月10日（水）
（入金締切時刻：15時まで）

申込方法

1. 参加希望者は、下記申込先にアクセスし、氏名、勤務先（電話番号）、LC研究懇談会・個人会員、協賛学会・個人会員、その他の別および情報交換会参加の有無を明記のうえ、お申し込みください。なお、参加者名と振込者名が違う場合は、参加申込書の連絡事項欄に振込者名を明記してください。
2. お申込みが完了した場合には、登録されたアドレス欄に「第414回液体クロマトグラフィー研究懇談会申込み受付（自動返信）」のメールが届きます。メールが届かない場合は、①入力したご自分のアドレスに間違いがないか、②迷惑メールフォルダーをご確認のうえ、世話人までお問い合わせください。
3. 申込み受付のメールを受領後、必ず期限内に研究懇談会参加費、情報交換会費の納入を行ってください。期限内に納入が確認できない場合、お申込みを無効とし参加URLを発行しませんので、十分ご注意ください。当日払いは受け付けません。なお、いったん納入された参加費は、返金いたしません。
4. 参加費の納入が確認できた方には、2025年12月11日以降に要旨集をメールにてお送りいたします。必要に応じてプリントアウトしてご参加ください。また、請求書の発行はいたしておりません。

液体クロマトグラフィー研究懇談会（例会）参加費送金時のご注意

例会参加費、情報交換会費を送金される場合、下記を禁止しておりますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

1. 複数例会の参加費の同時振込
（→例会ごとに振り込んでください）
2. 複数参加者の参加費の同時振込
（→参加者ごとに振り込んでください）
3. 年会費や他の費用との合算振込
（→費目ごとに振り込んでください）

申込先 <https://forms.gle/LmZgq6a8YTGG2VNL9>

（学生申込者は、所属欄に大学名、学部、学年を記載）

銀行送金先 りそな銀行五反田支店（普通）1754341、口座名義：シヤ）ニホンブンセキカガクカイ〔公益社団法人日本分析化学会・液体クロマトグラフィー研究懇談会〕

問合せ先（公社）日本分析化学会・液体クロマトグラフィー研究懇談会 世話人 西岡技術士事務所 西岡亮太
〔E-mail：nishioka@nipco-chem.com〕

—以下の各件は本会が共催・協賛・後援等をする行事です—

◎詳細は主催者のホームページ等でご確認ください。

電気化学セミナー B： 初心者のための電気化学測定法—実習編 【オンデマンド】

主催（公社）電気化学会
期日 2025年9月22日（月）正午～10月8日（水）午後5時
会場 オンデマンド（Vimeoにてストリーミング配信）
ホームページ
<https://www.electrochem.jp/seminar/>
連絡先 〒101-0065 東京都千代田区西神田3-1-6 日本弘道会ビル7F（公社）電気化学会事務局 原優美子
〔電話：03-3234-4213, E-mail：seminar@electrochem.jp〕

第61回熱測定討論会

主催 日本熱測定学会
期日 2025年9月24日（水）～26日（金）
会場 横浜国立大学常盤台キャンパス
ホームページ <https://www.netsu.org/61touron/>
連絡先 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町2-15-9 須磨マンション901 日本熱測定学会事務局 土信田裕子
〔電話：03-6310-6831, E-mail：netsu@mbd.nifty.com〕

腐食防食部門委員会第362回例会

主催（公社）日本材料学会
期日 2025年9月30日（火）
会場 大阪府教育会館たかつガーデン地下1階オーリーブ
ホームページ <http://www.jsms.jp>
連絡先 〒606-8301 京都府京都市左京区吉田泉殿町1-101（公社）日本材料学会〔E-mail：jim@office.jsms.jp〕

生物発光化学発光研究会第40回学術講演会 『生物発光化学発光の多様な展開』

主催 生物発光化学発光研究会
期日 2025年10月18日（土）
会場 産業技術総合研究所関西センター
ホームページ <https://www.blcl-ja.com/event/>
連絡先 〒563-8577 大阪府池田市緑丘1-8-31（国研）産業技術総合研究所 関西センター モレキュラーバイオシステム研究部門
〔電話：080-2260-0049, E-mail：chun-wu@aist.go.jp〕

プラズマ分光分析研究会第126回講演会 —様々な分析に用いられるプラズマ分光分析技術—

主催 プラズマ分光分析研究会
 期日 2025年10月24日(金)
 会場 Shimadzu Tokyo Innovation Plaza
 ホームページ <https://plasma251024.peatix.com>
 連絡先 〒192-0392 東京都八王子市堀之内1432-1 東京薬科大学生命科学部 分子生命科学科生命分析化学研究室内プラズマ分光分析研究会事務局 大関杏子
 [電話: 042-816-3001, E-mail: office@plasma-dg.jp]

日本腐植物質学会第41回講演会および総会

主催 日本腐植物質学会
 期日 2025年10月25日(土)・26日(日)
 会場 岡山理科大学50周年記念館
 ホームページ <https://www.humic-substances.jp>
 連絡先 〒700-0005 岡山県岡山市北区理大町1-1 岡山理科大学理学部水圏化学研究室 第41回講演会実行委員長 杉山裕子 [E-mail: yuko-sugiyama@ous.ac.jp]

分離技術会年会2025

主催 分離技術会
 期日 2025年10月31日(金)・11月1日(土)
 会場 日本大学理工学部駿河台校舎1号館
 ホームページ <https://mtg.sspej.org/>
 連絡先 〒214-0034 神奈川県川崎市多摩区三田1-12-5-135 分離技術会事務局
 [電話: 044-874-0337, E-mail: jimu@sspej.gr.jp]

第4回標準化セミナー

「ろ布および乾式ろ過集じん装置の
性能評価試験の標準化とその応用展開」

主催 (一社)日本粉体工業技術協会
 期日 2025年11月4日(火)
 会場 ウィンクあいち(愛知県産業労働センター)
 ホームページ <https://form.run/@registration-standardization>
 連絡先 〒113-0033 東京都文京区本郷2-16-11 種苗会館5階 (一社)日本粉体工業技術協会 東京事務局
 [電話: 03-3815-3955, E-mail: standardization@appie.or.jp]

第15回イオン液体討論会

主催 イオン液体研究会
 期日 2025年11月12日(水)~14日(金)
 会場 千葉大学けやき会館
 ホームページ <https://www.ilra.jp/>
 連絡先 事務局 三谷和美 [E-mail: ionicliquidoffice@ilra.jp]

第54回薄膜・表面物理基礎講座(2025) 「自動計測・自律実験とデータ駆動型 解析による薄膜表面物理の新展開」

主催 (公社)応用物理学会薄膜・表面物理分科会
 期日 2025年11月12日(水)
 会場 東京理科大学神楽坂キャンパス森戸記念館(第2フォーラム)
 ホームページ https://eventpay.jp/event_info/?shop_code=1804158131583761&EventCode=8899690319
 連絡先 (公社)応用物理学会事務局 分科会担当 岡本晋一
 [電話: 03-3828-7723, E-mail: divisions@jsap.or.jp]

KISTEC Innovation Hub 2025

研究成果発表交流会

主催 (地独)神奈川県立産業技術総合研究所
 期日 2025年11月13日(木)~15日(土), 17日(月), 20日(木), 21日(金)
 会場 KISTEC 海老名本部, 産業貿易センタービル, LiSE
 ホームページ <https://www.kistec.jp/inno-hub/>
 連絡先 〒243-0435 神奈川県海老名市下今泉705-1 (地独)神奈川県立産業技術総合研究所 KISTEC Innovation Hub 事務局 [電話: 046-236-1500, E-mail: sm-innovation-hub@kistec.jp]

日本希土類学会第43回講演会

主催 日本希土類学会
 期日 2025年11月14日(金)
 会場 崎陽軒本店 会議室1号室
 ホームページ <https://www.kidorui.org/lecture.html>
 連絡先 〒680-8552 鳥取市湖山町南4-101 鳥取大学工学部化学バイオ系学科 増井研究室内 日本希土類学会 事務局 [電話: 0857-31-5264, E-mail: office@kidorui.org]

日本膜学会「膜シンポジウム2025」

“膜を究める”

主催 日本膜学会
 期日 2025年11月27日(木)・28日(金)
 会場 関西大学100周年記念会館
 ホームページ <https://www.maku-jp.org/conference/article/BA19VUwg>
 連絡先 〒113-0033 東京都文京区本郷5-26-5-702 日本膜学会事務局 [電話: 03-3815-2818, E-mail: membrane@mua.biglobe.ne.jp]

新アミノ酸分析研究会第15回学術講演会

主催 新アミノ酸分析研究会
 期日 2025年12月9日(火)
 会場 味の素(株)川崎事業所クライアント・イノベーション・センター(CIC)

ホームページ <http://jsa3.s2.weblife.me/index.html>

連絡先 〒192-0392 東京都八王子市堀之内 1432-1 東京薬科大学 薬学部・生体分析化学教室 新アミノ酸分析研究会事務局 柳田顕郎, 森岡和大 [電話: 042-676-4537, E-mail: aminoacidanalysis2011@gmail.com]

「分析化学」年間特集“波”論文募集

「分析化学」編集委員会

「分析化学」では2010年より年間特集を企画し、2026年のテーマを「波」と決定しました。

「波」は光の波長と波数を想起させることから、分光分析の基礎および応用についての論文を募集します。例えば以下のような研究について募集を行います。

- 1) 将来的に分析化学に応用される可能性をもった分光測定法の開発
- 2) 分光分析による構造解析, 定量, 微量検出, 化学種同定.
- 3) 表面分光・顕微分光による局所測定とイメージング
- 4) 分光法と類似の情報が得られる中性子や超音波を用いた測定
- 5) 多変量解析や理論計算による分光測定結果からの情報の抽出

一方で、「波」は直接、海や川の表面に起こる波を連想させます。本特集においては、海洋や河川の表層または岸辺を対象とした環境分析についても論文を募集します。

本特集に関わる論文は年間を通じてご投稿いただくことが可能で、審査を通過した論文は、単行の特集号を除く「分析化学」第75巻(2026年)合併号の冒頭に掲載する予定です。多くの皆様方からの投稿をお待ちしておりますので、是非この機会をご活用ください。詳細はホームページをご確認ください。

特集論文原稿締切: 2025年11月14日(金) (第2期)

「分析化学」編集委員会特集

“分析化学の次世代を担う若手研究者”の論文募集

「分析化学」編集委員会

「分析化学」誌では、毎年第6号に「編集委員会特集」として特集号を企画しています。「編集委員会特集」では話題性の高い分析手法や分析分野に関連する論文を募集・掲載しています。

2026年度(第75巻)の「編集委員会特集」のテーマは、日本分析化学会の若手組織である「若手交流会」とのコラボレーション企画として、『分析化学の次世代を担う若手研究者』に決定いたしました。日本分析化学会若手交流会は、「支部間を超えた若手分析化学研究者の連絡交流に基づく連携強化と若手の活性化を図る」ことを目的として、2001年に発足しました。

「編集委員会特集」では、分析化学における若手研究者のアクティビティを示すことを目的として、おおむね45歳以下の若手研究者・技術者を筆頭著者とする論文を募集いたします。チャレンジングな研究論文、ご自身の研究業績をとりまとめて体系化した総合論文、ある分野の研究動向を総合的・体系的に論じた分析化学総説など、多数の論文の投稿をお待ちしております。詳細はホームページをご確認ください。

特集論文申込締切: 2025年10月4日(金)

特集論文原稿締切: 2025年12月6日(金)

「分析化学」特集 “未来を拓く熱分析”の論文募集

「分析化学」編集委員会

「分析化学」編集委員会は、熱分析研究懇談会と共同で「未来を拓く熱分析」と題した特集を企画しました。熱分析は、“物質の温度を調節されたプログラムに従って変化させながら、その物質の物理的性質を温度(または時間)の関数として測定する一連の技法の総称です。適用範囲は、プラスチック、ゴム、セラミックス、金属、鉱物といった材料分野から、食品、製薬などの製品分野、生体・環境・エネルギー分野と多岐にわたり、およそあらゆる物質を対象としています。対象も手法も日々進化しています。熱分析研究懇談会が設立して15年が経過しました。

このような背景に鑑み、本特集号では、広く熱分析が力を発揮した研究論文の投稿をお待ちしています。奮ってご投稿ください。詳細はホームページをご確認ください。

特集論文申込締切: 2026年2月20日(金)

特集論文原稿締切: 2026年4月17日(金)

初めて書く論文は母語の日本語で! “第24回初執筆論文特集”募集のお知らせ

「分析化学」編集委員会

「分析化学」編集委員会は、2025年(第74巻)に企画しております第24回「若手研究者の初論文特集」の特集名称を変更し、第24回「初執筆論文特集」として原稿を募集いたします。卒研究生、修士・博士課程院生並びに若手研究者の方々にとって、ご自分の研究成果を日本語で投稿できるよい機会です。年間を通して論文原稿を受け付け、審査を経て掲載可になり次第随時掲載いたしますので、奮ってご投稿ください。

なお、詳細は「分析化学」誌HPをご参照ください。

「分析化学」の掲載料についてのお知らせ

「分析化学」誌では、2020年4月より論文掲載料を以下の計算式にしたがってお支払いいただき、pdfファイルを進呈することになりました。なお、論文の別刷を希望される場合は、別途別刷頒布料金をお支払いいただくことにより購入することができます。

掲載料金計算式 (P: 印刷ページ数) (単位: 円)

会員の場合: $30,000 + 5,000 \times (P - 4)$ (印刷ページ数が14ページ以上は一律80,000円)

会員外の場合: $40,000 + 5,000 \times (P - 4)$ (印刷ページ数が14ページ以上は一律90,000円)

*上記に消費税がかかります。